

第4章 本計画の将来像及び基本方針・目標

4-1 求められる公共交通の役割及び課題から導き出される将来像・基本方針

(1) 将来像及び基本方針

第2章で整理した上位・関連計画で求められる公共交通の役割及び第3章で整理した本地域における課題を踏まえ、本地域における将来的な地域公共交通網の将来像と、将来像の実現に向けた基本方針は以下のとおりです。

【北空知4町地域公共交通計画の将来像】

次世代につながる最適な公共交通網の構築

基本方針①： 利便性を確保した合理化等の実施による 持続的な公共交通の確保	対応する 課題	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の将来を見据えた、持続可能で活力ある地域づくりや観光振興などにも寄与する公共交通ネットワークを構築することが重要です。 ・また、現状及び課題等を踏まえると、地域の実情を踏まえた公共交通を確保するため、利用実態に応じた運行規模の適正化を図りながら、交通モード間の接続性を高めるダイヤの見直しや地域内拠点の機能強化など、広域交通、地域間交通及び生活圏交通が有機的に繋がった最適な公共交通網の確保に努める必要があります。 		
基本方針②： 公共交通の利用促進・持続性の確保	対応する 課題	1, 2, 4, 5
<ul style="list-style-type: none"> ・本地域における公共交通網の維持にあたっては、基本方針1で掲げる公共交通ネットワークの構築や運行規模の適正化などのみならず、公共交通を利用してもらうことが重要です。 ・また、持続可能な公共交通の実現に向けては、住民だけでなく、本地域外から訪れる方にも利用してもらうことも重要であり、住民・来訪者の両者にとって、公共交通が利用しやすくなるような利用促進策が必要です。 		

(2) 基本方針の実現に向けた目標

基本方針の実現に向けた目標は以下のとおりです。

基本方針１： 利便性を確保した合理化等の実施による持続的な公共交通の確保

目標① 多様な目的へ対応し、利便性の向上及び目的地までの速達性に配慮した広域交通の確保

本地域で実現する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けては、住民をはじめとする多様な利用者の広域的な移動に対応した円滑な広域交通を確保していくとともに、「JR留萌本線沿線自治体会議」での協議・検討結果を踏まえた、円滑な交通モードの検討を行っていく必要があります。

目標② 利便性の高い生活移動の実現に向け、最適化を図った持続可能な地域間交通の確保

利便性の高い地域間交通の確保に向けては、広域交通、地域間交通及び生活圏交通の各交通が継ぎ目無く利用できる環境整備を進めるとともに、利用実態に応じた運行規模の適正化を進める必要があります。

目標③ 地域内での生活を豊かにする生活圏交通の確保

本地域に安心して住み続けるための生活圏交通の確保に向けては、地域内拠点において広域交通・地域間交通との接続性を確保した交通体系を構築するとともに、郊外部・農村部から各市街地までアクセス可能な交通モードの確保も進める必要があります。

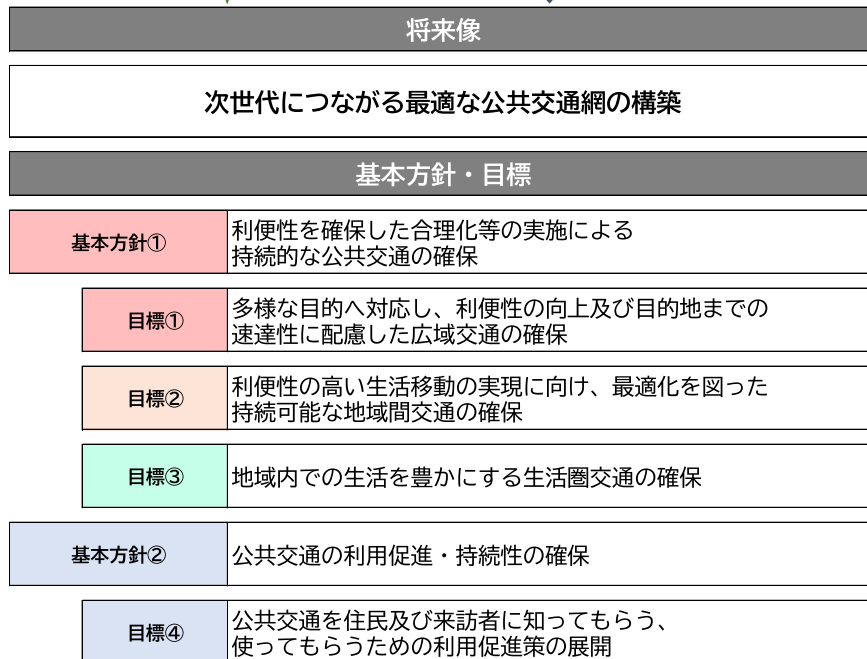
基本方針２： 公共交通の利用促進・持続性の確保

目標④ 公共交通を住民及び来訪者に知ってもらう、使ってもらうための利用促進策の展開

本地域を運行する各公共交通を維持していくためには、住民や本地域への来訪者などに、広域交通・地域間交通・生活圏交通を知ってもらい、利用してもらう取組の実施のほか、便利に利用できる環境整備を進める必要があります。

(3) 課題と基本方針の対応関係

【上位・関連計画で求められる公共交通の役割】		個別課題等		基本方針との対応状況	
				①	②
■広域交通 ・中核都市である旭川市、札幌市及び地域中心都市である留萌市、深川市と本地域の地域内拠点を結ぶ交通 ・通勤、通学、買い物、通院、観光等の多様な目的で利用		1	利用者数等に応じた広域交通・地域間交通・生活圏交通の確保・維持	●	●
		2	自家用車に依存しない交通体系の構築	●	●
		3	各交通モード間の接続性向上によるシームレスな交通体系の確保	●	
■地域間交通 ・地域中心都市である留萌市、深川市、滝川市と本地域の地域内拠点を結ぶ交通 ・通勤、通学、買い物、通院等の地域間を跨ぐ生活目的で利用		4	アフターコロナを見据えた公共交通による生活目的及び観光目的での円滑な移動の支援	●	●
		5	利用者負担の軽減に向けた施策・取組の検討	●	●
		6	JR留萌本線沿線自治体会議での協議結果を踏まえた、円滑な交通モードの検討	●	
■生活圏交通 ・各自治体の地区と地域内拠点を結ぶ交通 ・地域内の買い物や通院などの生活目的で利用		7	住民等の円滑な広域移動を支えるJR函館本線及び高速るもい号の維持	●	
		8	JR留萌本線のあり方と連動した留萌旭川線における運行水準の見直しを検討	●	
		9	利用実態に応じた運行規模の適正化による持続可能な地域間交通の確保	●	
		10	生活圏交通の充足による交通空白地域の減少及び生活の足の確保	●	



4-2 目標に基づく施策

各目標の達成に向けた施策及び取組内容は以下のとおりです。

目標①	多様な目的へ対応し、利便性の向上及び目的地までの速達性に配慮した広域交通の確保	対応する課題	1, 3, 4, 6, 7, 8
-----	---	--------	------------------

本地域の広域ネットワークの確保に向け、本計画で位置付けられる交通モードごとに、地域間交通・生活圏交通からの円滑な広域交通への乗り換えのほか、サービス水準の見直しや利用者数に応じた持続可能な交通モードへの転換など、利便性を高める取組を実施、検討します。

施策 ① JR留萌本線沿線自治体会議における検討・協議結果を踏まえた広域交通の確保

目的等	地域間交通や生活圏交通からの乗継などを考慮し、輸送量向上を目指します					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通学目的の利用が最も多く、買い物や通院などの移動も一定数あることから、各交通モードの利用者数を増加させるなど利用促進に向けた取組を進めます ・各交通モードの維持・確保に向け、協議の実施や効率化を図りながら関係自治体が一体となった検討を進めます ・令和8年4月に予定されているJR留萌本線の廃止までは同様のサービス水準の維持に向けた取組を進めながら、代替交通への移行について検討します 					
取組主体 (連携団体・協力団体等)	北海道、北空知4町、JR北海道、バス事業者					
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用した情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、計画に位置付ける各路線の持続的な運行に向けた方策を検討します 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌での情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、計画に位置付ける各路線の持続的な運行に向けた方策を検討します 				
	JR北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・JR留萌本線の廃止に伴う代替交通の確保等に係る支援措置を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、代替交通への移行に向けた関係者間による協議に必要な情報や資料等を提供します 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、乗車人員など利用動向に係るデータの提供や関係者からの運行に係る要望の実現性の検証、費用負担のシミュレートなどを実施します 				
スケジュール	取組内容	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組					
	持続可能な交通モードへの転換					

施 策 ② 他公共交通機関と連携した J R 函館本線の利用促進

目 的 等		他公共交通からのシームレスな接続による輸送量向上を目指します				
取 組 概 要		<ul style="list-style-type: none"> 旭川・深川方面や滝川・札幌方面を結ぶ広域交通としての位置付けを確保します 利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます 地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します 				
取 組 主 体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、J R 北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用促進や J R 留萌本線の廃止に伴う代替交通との接続を含めた利便性の向上に向けて、必要な助言を行います バス乗換案内時刻表の作成やホームページでの情報発信を行います 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> 町内の公共交通マップを作成し、ホームページや広報誌での情報発信を行います 運賃助成などの利用促進策を検討・実施します 地域の移動実態を踏まえ、必要に応じて生活圏交通のダイヤの見直しを検討するなど、路線の接続状況の改善を図ります 				
	J R 北海道	<ul style="list-style-type: none"> 乗継利便性の向上を目的としたバス事業者への情報提供を行います 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤ変更に伴い、路線の接続を見直す必要がある場合には、事前に取組主体間で情報共有を図り、シームレスな接続を確保します 輸送量向上に向けて、利用実態データに基づいた必要な取組を協議会に提案します 				
スケジュール	取組内容	R 4 年度 (2022)	R 5 年度 (2023)	R 6 年度 (2024)	R 7 年度 (2025)	R 8 年度 (2026)
	利用促進に向けた取組	バス乗換案内時刻表の検討、作成				
		公共交通マップの検討、作成				
		運賃助成などの利用促進策の検討・実施				
接続状況の改善に向けた検討・協議	検討・協議の実施→必要により改善					

施 策 ③ 他公共交通機関と連携した高速るもい号の利用促進

目的等		高規格道路を活用した広域交通の輸送量向上を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通としての位置付けを確保します ・利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます ・地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します ・地域間交通及び生活圏交通からの円滑な乗継に向け、各町内における乗換拠点の形成の検討を行います 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、JR北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・路線の利用促進や他の公共交通機関からの接続状況の改善に向けて、必要な助言を行います ・バス乗換案内時刻表の作成やホームページでの情報発信を行います 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の公共交通マップを作成し、ホームページや広報誌での情報発信を行います ・運賃助成などの利用促進策を検討・実施します ・地域の移動実態を踏まえ、必要に応じて生活圏交通のダイヤの見直しを検討するなど、路線の接続状況の改善を図ります ・まちづくりと連携が図られた乗換拠点を検討します 				
	JR北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継利便性の向上を目的とした情報提供を行います 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送量向上に向けて、利用実態データに基づいた必要な取組を協議会に提案します 				
スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組	バス乗換案内時刻表の検討、作成				
		公共交通マップの検討、作成				
		運賃助成などの利用促進策の検討・実施				
	接続状況の改善に向けた検討・協議	検討・協議の実施→必要により改善				
乗換拠点の形成に向けた検討・協議	検討・協議の実施→必要により形成					

施 策 ④ 留萌旭川線の運行サービス水準の向上

目的等		現状維持を図るとともに高規格道路を活用した広域交通の維持を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通として位置付け、地域間幹線系統確保維持費補助金を活用し、路線維持を図ります ・利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます ・地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します ・現行の留萌旭川線と同程度のサービス水準の維持を基本としたサービス水準の設定について検討を進めます ・また、高規格道路を活用し、速達性を持たせた広域交通として、利用が多い時間帯など利用実態に即した一部の便のサービス水準の向上を検討します 				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、J R北海道、バス事業者				
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を活用した情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、今後の持続的な運行に向けた支援等について検討します 				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌での情報発信を行います ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、今後の持続的な運行に向けた支援等について検討します 				
	J R北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体会議における議論を踏まえ、乗継利便性の向上を目的としたバス事業者への情報提供を行います 				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体会議における協議状況を踏まえ、JRの代替交通手段としての機能も考慮し、速達性に考慮した便や利便性を損なわない便数設定などを検討します 				
スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)
	利用促進に向けた取組	ホームページ・広報誌を活用した情報発信				
	持続的な運行に向けた検討・協議	検討・協議の実施				